# 等望軍外周の本防禦線確保

# 包屋鴫服教えを記を置す

# 全部隊進撃命令を持

を確保し南京城を眼下に望んでここに包圍宣宗を完全に整へ、全部隊は總て枚をふく七日早朝來樓霞山(紫金山東方三里)方山(南京東南四里)に到り、南京外周の本防禦線【上海七日同盟至急報】怒濤の如き勢を以て南京郊外に近迫した皇軍第一線部隊は、本 んで進驟命令を待つのみこなり、今や南京城は一気に我が軍の鐵路下に蹂躪されんご

約十八キロ)青龍山(南京東方八キロ)万山(南京東南・十五キロ)に互る敬の主防禦線を占領し、南京攻略の體勢【東京電話】大本營陸軍部七日正午竣委=南京に向ひ進撃サニ共元第一線諸部隊は本十二月七日朝機復山(南京東

【上海七日同盟|軍報道部七日正午改表 --本七日朝軍の第一線は 根皮山(紫 金山東方三里)方山(南京東南四里)に

## 

東京支社特電」南京府

場飛行場を占據し城壁に向つて突進しつ、亡る、我砲兵隊の援護砲群は殷々さして南下枝等の部隊は六日午後既に城外一里餘に位する高橋門に進攻、難闢を突破して大校【上海七日後藤本社特派員發】連戰連勝破竹の勢を以て南京城に內薄しつゝある脇坂、 城内外を搖がし、敵は東方及び南方より域内になだれを打つて逃げ込み南京衛戍 では戒嚴令を布告して治安維持に當つてゐるが、大部分は對岸浦口に後送されてゐ なほ狼狽その極に達した蔣介石夫妻は親衛隊を率の途に南京落ちを決意したも

## 十五回目の南京空襲

**风省を水める** 

妄動に對しては更に

【上海七日同盟】我が陸海軍飛行隊は七日午前全力を擧げて事變以來第百 空よりの総攻撃敢行

## 南京全く魔燼と化す

宇通り死の据と化し中山路南一くには無風味な認識が縄を覆む におけ、海賊前夜の南京城内 て行く、轟々と過く。底壁のあい間

進撃の前に軍星も今では見り

交那紙遂に

和平を論ず

到し日本軍の漁事<br />
緊迫せるにより

ウルグワイ

## 宣城を占領

南京の敵は後方を遮斷さる

|民の理解と第三國の考慮に賽すべ||田外相は同問題に開聯する第三國 しとの根本的誤解に到達したもの一関係その他について重要事項を奏 **斷乎たる鐵槌を加ふ 南京陷落の當日** 南總督は聲明

一段の緊張を促す 上半島二十三百萬大像に更に 一環び南京市内外陣地に猛爆撃を加 釈説を促し、併せてこの際一へた、この日南京上空は海の荒ち

勝内鮮一種の質を駆けしめ、続後、除と融の事群の大軍に追ばれ地に

ワイ共和國政府は今回スペインの

一天日



【線外赤】

り し「どうだえ 皇途一般月や四百億 うし無空機に都は発

ら何とか返事が来る

日夕刻から頭龍山頭の縦と路殿十、平口に迫つてゐる、また五

た、紫海の騒に鎖々掲子红を遮 転に現れ無隣東方十キロに迫つ

つて北岸に逃却中である

介石が著 く何だらう歌

賣

新發 普及藥 第千用 (1821年) 一門九〇

漫画は京田氏)

るがめですから来宮城春は即郷御使用下さい。 物のが原乃を掘り庭藩の紙亦を一日も早く解領す がのが原乃を掘り庭藩の紙亦を一日も早く解領す

他にない治療の特長

、各関別撤出額左の主な

一七〇二千曲 八〇五千弗

用量

小銃、機器銃

時間 法 安 一回二分間 全簡易 (間作用総對になし) č L

の狼狽振り 7

六三九千那

ク六日回盟コルド

將政権を否認するか

で、原送四方升陽湖南岸の眺望春

迫を加へつつある

山域地帯を突破した。長谷

最後の反省を求むか

けふの閣議で意見交換

**慶戦万撃く、之れ気管罪の求めて止まの漢信情能形すれば一時郎に鋭慢に戻し治納を容みにする機能の地万撃ブラオン戯は、之れを機能無に吹る起薬の地万撃ブラオン戯は、之れを機能無に吹るないがない。** 吉原病院長前東京吉原遊廓 の治療とは徹底地数

人。境天に上り、常好がってあることであった。 いに立ちさくなるのは破得性子 いに立ちさくなるのは破けてあた。何答附近子 は大浪猟の原で日本軍の

がに指って早くも何答とには日本軍が大連河及とには日本軍が大連河及を立りの登に判消した、個別をいから、

容に赴いたが迅速で

發明創製 で充分効果ある底で充分効果ある底 あります。然し飲物にならぬのは常然で

將夫妻は深更

では一般などにつて続けて行くい次とたつて続けて行くい次とたつて続けてい、 からはれないた、 が会は現立いるなから、 からはれない、 の後の が会しているなかからなったからん。 からなってあるかからからなっているなかからない。 がは、 からなってあるかからからない。 からなってあるかからからない。 からなってあるかからからない。 からない。 の連絡を

南京を脱出

間紊れ混亂を極

れてゐるので

ブラ

一法閣状態に降り、軍政多要人も南 東を放棄して組々避難行をたしつ

號外發行士嗣天

統に等の戦外を襲行

ン オ

可找

来教を査に現るれ

類(様人、暗聴)と全に一般で快駆傷な局所 郷北後等の危険を安 く指述して野港級戦

態度物表に後頭の病院なく戦闘に鉛性悪なく戦闘に鉛性悪 書なき遠に根収から

田原が出央ます

**税関力设施工内报单** 世界的に質認された 最少獎問で設大効果

#

ン

中國形師人用學學社

大地 支責 大地 支責

の優情販売場に避か て発音の記述み立た

此の新政権こそ、力强く、根

にとは省はず 新政権の樹立を見むの

際ひよく生い育たむ

早くも南京入り、文字通りの

正にこれ正義のスピード

首都路路の最近の例と

八五九甲英佛聯合軍

その精政艦の象徴こそ東重の

効果的やする治淋薬 き最小要値で批呼に 急性思考は本側の処

性の見込みなく戦災性の見込みなく戦災 要状です。

代用薬ナシ 月東郷薬の名の山梨は南でなか。 カンゴールと特に南洋東下さい。 東京市芝區通新町十三番地 

開聯合軍の北京包閣による西安

路路を概ふ意気込み れから今度の南京経験 面と、一九〇〇年の列

題間

人口玩人(約至古日曆)十一円近〇玩人(約至古日曆)七一円近〇玩人(約) 古日曆)七一円 文献 進星 日東製票含名電子製品

超新三田 () 木八九

金関類店にて販資す品切の節は返接網代理店へ

小子服、日獨伊防共都 数と正月が一緒に来た

少年少女は常に平和の

ロタ刊口頁

木村八段と決定す

村八段の百五手、二五歩の駒で勝

作用人段は玉窟主義をもつて當つ

公政の編結な反響で大戦戦となり、三畿の時人段となつた構成種に見公日夜兵來花田八段の急襲、木村、木村人段は、本年三十四畿で二十

三銭の呼入段となった情報権に見

も見才である。 たほこの大手合せ

が終る。北田八段は職然襟を正し

母子ホームに於ける勇士の母と

不村人段對花田人長の大手合せは | 食から正失遊表を見るはずである

花田八段ごの優勝戦終る

へるの報道に感謝、今月から毎月

是在安時中的民館中職等官民

血染めの日章旗

龍山師圏を感激さす

を投げ高余を加ずこととなった。お野城陣に関する打合せと極気が野城陣に関する打合せと極気を開業に招き境

海へ府が告除に申込めばよい、元 規定のカードに肥入の上五十銭を 每月五十圓献金

**踵路街の理影案者** 

小倉南鮮合電社長

のに抛って置かれぬと早速酸セし

大郎の有力者間に〇〇郎医療「韓と鍼然教育に発と確認の態度をせんとするものである。之れ「京威書島公立普通県校生一同は懴 汗の結晶を



が行く』と一端に及ばすその大校制品として大量の関本とキャラ 数制品として大量の関本とキャラ かんを用致した。これを聞いた情

しや大會能々長が自ら第一級の一て滑消資限を同部隊に聞ることに 人は大邱而隋會頭であり数本一飛行機で田殿する(製匠は小倉肚



北支の第一線慰問

御苦勞さま

へることになり、

行事に一同揃って参加し氣勢を添

て直ちに00部隊に傳達する 手を程で舵納を駆び出たもの た、預山回顧では非常に感



害虫紀滅

東部京城に

部京城登開門の強化を要望し、総 東国京城の破膜と共に住民造行 駐在所增設

が殷慶町、新設町、上往十里町

教師も感動してこの血染の日





一の家族

末を終へ東大門器ではその強化に

人息子は南苑で重爆

母子ホームで幸福な生活

眉一つ動かさぬ矢野かなさん

した、母には超針破壁にして下さ ら取り留ることが出来ました、金 ガに硫製浴びたと云つていく位で

とが出来ましたので命はどうや

一个時のラデオ

リ職める事になった。 阿界では背戒陣の強化と浜に返れ側に称と得し從來の新設町駐在所と名稱を製度する。 は低頭駐在所と名稱を製度する。

**た日を登つてゐるμ減勇士の家族、賞養職常中都健衛町から迎氏とか、数はむて母子ホースにたに不自由の外条の脚を浴びて人の際に幸謝したは1個あげようと去る七月想里 かたさんは愛機婦人會の早い際に母子ホースの歌手書を勢分えて來、具1等具として出版した、かたさ「母をふりかへる暖もなく田越し、** 京奥場為町愛園が人存期鮮本部の一たつた一人の息子即氏に天晴れ歩一矢先に事観が整整、一人息子は老

| 「組がある、処野がなっちょう」 つて住んだことのある資産に発た。 ない日を思るでしまとなり衝撃が大闘ない。 ない日を思るすりになつたが、出

**愛兵の学心は『お母さん、安心しが密母に心配かけまいとする班』** て下さい左腕貫通の部間です、

また、四ツになる幼児を抱へて同

送ってある田祉勇士の薬局久萬間 しやうにホームの僧に幸福な日を 発身に蹴弾を浴び重傷を負った

軍手製造に励しむ

ボア・グラン領領別人口

若妻、高久萬福さん

し妨後を残つてゐる、これぞ魔

第十一回効

果宣傳

出し

に粗品進昇

い内鮮一量の数である

**鞑勝新年** 

七日朝伽路署へ申山たので一同 八は十段哲學者は五十段を陳山 | 合同の『初年お目田度ら会』を献 施では南京路路近しに紙を 城府主他の提灯行列は割べ迫つて 心るが、限督府職員全員は右親賀 し例年と遊ぶのは自居施利と阿歌 **祝賀提灯行列** 参加申合せ 発官が田府から龍山師嘅に血染の七日会南新安郡押汲而大川里の勢

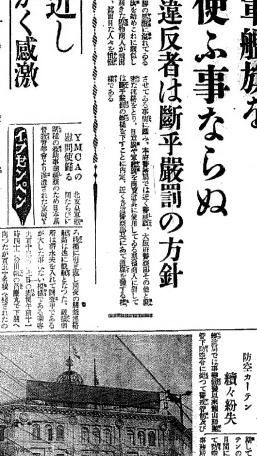
日郊旗を送つて赤たので聞べて見

を作つて瞬時に渡したところ、境 傾行の五人が北支で財害缺乏に耐 年生命大家、和忠敬、村御墓、村徒村城市と押事公立普通単校の四 から関かされ版画して血染の関膜 へて徴戦してみる県軍の話を先生 與安丸、暗礁

物船明徳九 (二百五十年) が接近 を出続して削もなく、間口附近場山田帆の連絡船県安丸が第二機橋 して来たので、それを避けんとし の軸の瀬松葉に差し掛つた際の 【釜山配話】六日午後十一時半釜 先生ご児童の合作 上日京城軍事後接職盟を、川口華一氏は無事に使命を了へて 七日の「のぞろ」で開放した MOA主事の総谷保太郎氏および イブセンペン T教育年育より派遣された京成Y

「機構は一時に火液能を暴したなかつたが、時ならの機帯に緩山

路程の数助事業制務のため日本基 慰問使歸る 間ならびド



原語に日館院や宋徽旗の旅版を傷つけてある者があり、属面目な人々を散録1マークを商場や廣告に利用し、愛國心を雅被とした不属きな臨物商人が採出

京陷落近

街にゑがく

最近この國民の赤は、黙悩を狙つて、 の連勝に國を舉げて甘取族一色で致りついされ、

日章雄や軍艦雄を始めこれに類似しつぶされ、戦勝の感慨に溢れてゐる

日章旗や軍艦旗を

商際に使

ふ事ならぬ

所は南水夫を入れて朗査中である 創路に遂に蔵就となった、破扱側の機構に引き返し間夜の開金連絡 九百十三万一上日の超便午前十一 が大した事にない機様である現容

時四十二分川城の昌慶九で下納へ で夜便金剛丸に収容することにな 向つたが百五十名秋。な残ざれたの つた。なほ貨物、乗客には投標が

総派局では事題物強以来離山頭艦」で跳空の艦艦を押するため各艦消費のでは事題物強以来離山頭艦」で跳空の艦艦を押するため各艦消費を 智下防空令に從つて替記管修及び「事務所に監難防止方を連縁した 心なき乗客

> 報を乾燥の街頭に傷へる報道際に登場する新スターである、この京 の文字こそ劉々動きゆく我帝域の――支那殿線の――更に世界の構改展一の十字都顕和信デバートの賦上高く流れ出づる本社報道の光

食店前館最上の電光ニュースによつて部外並に内地より入電する時候紙包目申報では今回構築における連邦戦を擴充し京映鐵路和信官 非常時間の銭後にあつて迅速豊力な報道階を布いてある本紙並に師

**今夜から和信で** 気にのさばり出しこのチンピラに

た、師走になると既にチンピラが

**診臓器**謝出火御見舞 代號京城英油商事 ライジングサン石油株式合計

謝 近 火 御 見

舞

米商店京城支 電話本局 一比四六 京城府资金町一丁目 店

お茶は本町流清元園 京城府黃金町一丁目

張公開を致しますから難病者の一八代の高田墨村師愈々當地に出り福岡の名刹眞宗本誓寺住職十二年城府民有志及信徒の熱室によ 難病者

7

密出

に題れから一般家庭に用心が耽め

四五二千四般納の手損を終つたと

【水原】愛園機水原號基金と

部の感謝 水原號に軍

所不定位中後「z)コニザ「ルデ と同六時中城火した、 提出一 くこう三人のテンピラは十一一新中間型で開催される合衆を一 チンピラ三人

は早々に御出で下さい!!

十二月二日より

、場所 期日

南大門通 御成旅館

電話交換を改善 まづ成興に復式實施

あり位く機能を発れた(質問

至今郷(住が一棟、倉庫一棟を平)出しに際し相手系統を一度呼んで、暗交換権を衝突模式に改め、後国時世分垣火派起り住家四種(総二接押以上に良好で加入者が呼)化に済事し更に全館中小都 話を観察の軍式交換機から最新のも労進してあるに置み引動音近く 総「競別以上に良好で加入者が呼 化に着手し更に全難中小都市 大西式復式交換機に切替へたが成一海州、木浦、佩南浦の各局の復生 20信局では去る五日に成則局の記しるた不便も解消、交換作業の他型

随

誓

職

田岡田

開門山市方魚洞位方魚里に六日

方魚津の火事

猛火を潜つて 瀕死の二見を救出 感激の的、挺身警官

の仕事場から出火し近極の鴉風に「三月を旧して午後十一時半ころ鴻」ある、この出火の駅に還見く駆け釜山戦水町一の韓具御高橋正一方」がり遂に金線四様六月、中郷三線「原地は幾り火の不効果とみられて 亜橋だらうと思ひます。でもこ | 幸吉(愛観験)上帯兵服本三太郎て來まむんがよく判つてめます 長村上常獎(愛観験)上帯兵官崎 えの二人を従火を潜つて救ひ山 高橋方の長男本典教が、大男

キロを消滅してをり結局トラック一五 首ガロン のガソリンが 野歌し

別工場に導って を で 上 相約二十 時二十分でつと消し止めたが、ト

ラックには京城野から佐殿町東夏

出した、消防者具が転けつけ同一一面に結婚を負ひ用中丸病路で手筒 突然接護、黒翅に包まれ火を吐き「消火の際、人夫の物告性でしば新 トラック七四二三魏のエンデンが「6ガソリンに引火したものらしくン・スタンドで給油中の朝鮮温波」2が巡轉数に捨てた頻葉の吸湿が

を受けている、焼失した自動車は 出る一日購入したばかりの類前に

ライザングサン英油商事のガソリ

うたわけ、原因は助手の採命順つ

七日午後端時五十三分京城府職前 | が卅分間で約四百十回の煙草を

、天一名火傷を負ふ

业 飔 週

中風、動脈硬化、高血壓、神經痛、病中風、動脈硬化、高血壓、神經痛、水やドリウマチス腦病、呼疾、脚氣症、持人病、痔疾、脚氣症、神髓カリヱス、項固知皮膚病、離物、よう、ちよう、不妊症、母乳病、悪性下痢症、不妊症、母乳不泌症、以及病一切の慢性急性者病、悪性下痢症、荣養不良發育不全症切、衰小便、治疗、氣管支加答见。

京城地方 [今晚] 最小

一服で

心氣

轉

風情望く始めは鶯で小字が一時前選く聲時々晴れるが一時前選く聲時々晴れるが

奏効的確百パー

セントの近代的治療器

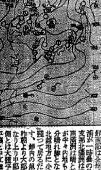
艮型ラヂオレ

(伽家路で何人でも即使用出來ます)

改良新式し

宗出來て於りますので、一一日朝の天氣概況

神神を独自とて考まり





ちゃん(デ)までもうけた、瓶まれ めてゐる高久氏と結婚し長男茂久

に入籍しよき妻として仕へた、事 た杜昭皇帝――萬職さんに高久家

















器

階藥品部



## 船會社設立計

(九七年中立和全田米仙)

(九七年中立和全田米仙)

(九七年中立和全田米仙)

(九七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和全田米仙)

(元七年中立和田平田平田平田平田平田平田)

(元七年中立和田平田平田平田平田平田)

(元七年中立和田平田平田平田平田)

(元七年中立和田平田平田平田)

(元七年中立和田平田平田平田)

(元七年中立和田平田平田平田)

(元七年中立和田平田平田)

(元七年中立和田平田平田)

(元七年中立和田平田)

(元七年中立和田平田)

(元七年中立和田平田)

(元七年中立和田平田)

(元七年中立和田)

(元七年中立和)

(元七年中立和田)

(元七年中立和)

(元七年中五)

(

しく氣が疑つて居ると見える。。一才なら、間着も洪々に参って申開のを致同じでござるます、基準線内も少一各々が最上家へ禁つて申開のを致 れば、貼り己れを已れで親つたも。「僕殺我した、是れ即ち順である、 が浪人の勝に人の事を素浪人と解した。自分

依にも板し前になさんとしたる者 る、療する所後等は二人の者を卑 郷面を持つて斬られて居る者もあ 云へば釣合の取れの勝負だ、殊に 機能でござるなり

刀を致し、汝等の命を取るから豊 **臣に、村上大助といへる平未だ若を能くする著は浙生飛翔守殿の家** 

は二人、一方は二十餘人、餘りと つた、是れ韓臨沛八段の道笛、其 はお見受け申した所求だお年は者 すなら、指者も共々に参のて申問 て捌者に手向ひや致したればころ いが、天晴なお観劇だた。お手前 きを致し、酸人に相成らう 〇プナ戦と悪友ない、時に其許 大『左縦でござるが、飛んだ脚

00-14 00-14 04-33 08-43

〇『コン汝等 見受ける所一方

張陽以程

湿腹

るが、年曜といひ原子といひ睨前 大『イヤ島は恐れ入りました。 といひ、或は御身は村上大助殿に き斯道の遠人ありと承った事があ

○■ウム、御身ならで又と左縁な く描者村上大明に相談とすらん

敵はない、迷ろ」といふと大格二一御歌名は……?」。

方は今やル版のドタン場が四百畝州を 粗みに及が 四百畝州を 粗みに及が 四百畝州を 粗みに及び によう (で頭張る河がによう) で頭張る河が

の問題となってゐる▲

(42)

龍齋貞丈演 木俣炭州山

き敗北を見る事は

鐵棒使ひの助太刀 | 人が殴されて了ったのだから、

- 田邇りが細つて來るの。何なる太弟が確味方から一人つつ。 是は神羊観殺々兄弟恵と共の鑑にた來でも密地は資物が、 | 〇『ヤチ波帝観を悪かに引け、如「造ける奴等は退ニに及ばん…是ほの先限と云へはどんたに | 僧書で送すと『女書』 是にて開三分る、遠かに双方銀を なうござる、俳し此の中には最上田で帯倒を物論れ、言すれば拙著 既に発き所、御助祭下言れ千萬森 □ヤナ海海銀を連かに引け、如一連ける奴等は追ふに及ばん…是は、

展場い相場である また、ことして自動・機・ご・職麼になるに依つて退つて、々様上家へ参づて申問さを**数し、**化してあると云ふ事で、我々へ對して解析に事を致すな、 しる早く園田立だされるやう、れていることでは、 一迷惑にでも相成ってはならん、少 家の重役の作も皆れば、異所の御

○『ナニ、装浪人をは何だ、無値 ○『イヤー〈単は独で版にあり、唇れ、修牧兵)で係収するた』 次して質明の単は申言んから』 の奴、汝等とても煎の錆ひやうと一般を以て途を討つに少しも抑る所 々最上来へ巻つて中川さを致し、

別があるか自衛羽め』 文へもない、我等一熈伸架を戦なれた很入者。 淑人と楽漢人との所 事を継げばこそ情報でたに何の悲れた很入者。 淑人と楽漢人との所 事を継げばこそ情報でたに何の悲れた。

川正米市况 二三九队都来二五〇队

衝逸の 經濟の

世界 (七 の) (七 の) (1 大 ら離ち大勢を斬捲くつた、『ソレの解人が、必死になつて働いたか から、雨の眼球はボンと飛出し、 ません、是に力を得て村上、簡井 者は一人として助かる者はこざい を幸ひ打倒す、此の影響に當つた と右の嵯峨を打扱ると、前に連

首は胴へ減込み、胴に土へ減込ん んだ星衛源 内の脳 天を引 叩いた 無残な長期、是より右と左に當る 直送さりでもないが、質に

大『殺れ入りました、シテ其許の名人のあるべきや』

なうござる、俳し此つ中には最上

十二月二十日

岩波書店

特價五·五〇

**法制史・外國法律語・法諺** 

論的水準を確保するとい

ふ本解典の勝れた特色

斯る輝しき業蹟を

肆の微意が全

支那通名士の假面を剝ぐ

水久保澄子破婚の眞相

興中公司を解剖する

藤田

少佐。飛行技術

時下。花街景氣調

甦

運命は今

や日

リガトウ

に結ばれたり!!我等の

出席者

附

錄

(定值)國、悉料六聲)

トの健康及済物、住宅

野になると花棚界は紫昌す

から熱誠な支持を受けんことを期待する。

門諸學者の共同作品

目相互の有機的連結

律概念の實質的說明

別法令の百科全書

俊 郞

員委輯編

菊川兼江石 子川川 英照

助业是代 我 妻 榮 榮 縣 延 三 縣

寫縮物實

花井のお乳 電話龍山七三二 湯一〇四

獨逸人氯質 イタリヤ話

へる山田耕筰

スト猛ろ屋大タつ者をに部しての巻と

◎當世女相場師では誰が儲けたか◎練習艦隊非常時訪歐航海記

徴兵保險の

儲け

振りを

馬人 電話

下位春吉

妻子探查流浪配

富選傑作

外國漫畫

大事變

下の

帝都

漫畵

一探訪

佐小 世野

**搾取し盡したその惡業の 數々に至つては一讀面を掩はん傷寒國英國の假面は玆に剝がれた!! インド幾億の民衆を** 

儿

۲

伴夜

學問的協力。最高峯 編輯組織による

且つ真に座右必需の辭典たらしめる意圖の下に 不來その知識の普及を豫想し要請してゐる。 出

曾

本

諸

問

題

の

解

決

に

必

要

な

る

總

ゆ

る

項

目

を の研究を重ね幾多の創意を加へて完成された

滿クとリー 載解トの粒 だ說ピ讀選!!のツ物 特價 大十 鏈

し、直接その一々に平易にして要領を得た説

的連絡を興へて廣い理論を展望し得るやうに

極めて多數の項

はかり 好費の が動物

本管とはどんなものか

O

同盟通信社を解剖する 津田信吾といふ男 州湾敵前上陸從軍記

死の南京脱出帰國職シェファ 日本飛行機に電話る

壊滅の上海に拾い

小串鑛山惨劇現地報告 上海支局長アーベン

★話の座·菊池覧

くすぐる!!

華山小屋爐邊日記於節作太 舟松郎町四拾九条地ノ佐ン北ノ名川の一番地の一番川田頭取っ就光壁、昭和船町沖岳月条登町朝鮮地 産銀行(髪皮) 大阪四十四川保護を 

各官批

院**神里**出 弘 所 登記公告

至十年度草無言門是 南迪奥校朝鮮西瀬本生一を耐蔵すると共に『遊文吹『遊李辞録』 を始せり、定備 淡料共三十四銭、曾通學校 朝鮮副本卷二届勝 (流料共 五十六銭) 同徳 三開勝(没知共 五十六銭) 同徳 四様 (流料共 五十六銭)

學校享無言言不言角普通內羊五景大睪子

し、之に正確なる第文と、恋切なる能様を加へたもので野菜受験本書は大正十年総質析効鮮語試験制度問題以来の試験問題を重複

からざる好藝者書である。附録に試験一

草魚言言馬譯交集問題並

の、財政に試験官の「受験者の必然」を附す。足債一国、後野子の、財政に試験官の「受験者の必然」を附す。足債一国、後野子への、財政に試験官の「受験者の必然」を附す。足債一国、後野子への、 草焦語受験者挑

**韓原州支廳** 

原州都原州位下洞里九 り 与く 一初步一般的知識を置掛せしむべく平均間即に構造し四種的観光系の音句情楽 一図、淡料十六錢(見不測量)

易が見針を言言

學校享無言考示言

資ル作の備りた

◇特典、含本の創金申込には「頻鮮県試験問列権に際文集」
定館一國(近年十六銭)を「新聞量す

朝鮮語講義錄 ◆右合本 塾クロース上・中下三冊一組美奘画人 韓領六圓五 十四 (近村下一班)

版下昌出版所 単語・東京語等主義の 単語・東京語等主義の 本音が用からまま。

能岡出張所

必警察 携官 菊华盛的二百貫,定懷七十錢、送科六錢(見本淮量)

一滿語會話

上海七日發本社特體」南京城を眼前に包圍陣を完整したわが諸部隊は七日朝、進撃 一せいに攻撃の火蓋を切つた

上海七日同盟至急報】南京郊外四圍の本防禦陣地の敵ミ接觸した助川、大野、脇坂、 山田なごの諸部隊は軍工路を中心こして包圍展開し今朝を期しい

いよ南京攻撃の火蓋を切つた、南京死守の一戰を交へんこする敵は棲霞山 枝及び干葉 馬鞍山を結ぶ丘陵の山腹に構築した永久堡壘より必死の抵抗を試み午後三 **喊聲は山野を壓し南京郊外一帶は砲煙に包まれてゐる** 

### の水久堡聖十 个半占據

上海七日同盟]南京の防禦股備は國民政府が首都防衛五ク年計畫と外人顧問の指導下に國力を傾倒し構築しただ (を選び永久堡壘を構築、更に南京四圍の天嶮を最後の護りとして多數の砲台並にトーチカを配備し林立する防 げた皇軍第一線部隊は既にこれら鐵壁の敵陣の大半を奪取し敵を南京城に制歴。今朝來意氣衝天の概を以て激 砲台と共に首都防衛の完璧を誇り断末魔の抵抗を試みてゐる。しかし句容。 に金城湯池の防禦力を有し高さ約三百米の磨磐山系の天嶮を第一陣地として防禦線は棲霞山、方山、 天王寺、秣陵閣の防禦戰に凱歌を

> 回アメリカ有力者によって『支那一支外交政策に多大の職換を行にざ問を蒙った支邦は蜘蛛機のため今』自國の構金機関の立場に立つて封 サンフランシスコ六日間盟」版一を契修として列回は特集における

支那民衆救濟

米國に委員會

確認し起す時間無の既容を臨化す

官中に条内、

ることになったが、今や南京路路

帝國の外交方針につき委曲等上し

殊たので廣田外相は上百午後三時

が外交政策はいうく爪大化して

際度に出るか列回の外変政策に無

て御前を退下したが、今後英米佛

崎文部政務決官は六日天津から飛

那諸學校を观察の上北京に向ふは

後壯を極めてゐる

に全朝飛行機にて南京を脱出、江西省某所に到着した、恐らく南昌と

常局間に交流が進められ交配の歴史しわが現地絶気事能と上海を開

上和七日問題】上海太陽問題に

が監

えため 一部抽私に附せられてある。一歩は今価税行中にして南京路路も

段と題化されるとと、なつた、交 獲扱のはずである、この結果上海

べ各間館異議なくこれを承認した つき調査立案を進めることにし同

機會において具體緊に

脈度を改善すべく考慮したいと述

到しては恩給又は年命盟野独相より飛死及で

順するに十一月二十一日以來 | 最早時間の問題となり南京政権が

の意展を見せるものと強犯されて

参議と閣僚

氏の朝鮮銀行線指就作

儿子午後四時四十分新 に競合を見るほずであ 四四萬州東衛銀行回總 兩日中に發令 總裁後任 分散算した

定例會談

|上海七日同盟至急報||淡口よりの情報によれば蔣介石は宋美齢と共

飛行機で南昌到着

# 無湖の陷落目睫に迫る

く休む暇もなく猛進撃をつゞけ、長山頭双王廟等の部落を相次いで攻略午後五時には燕湖宣城の中廣徳にて七日同盟特派員發]七日朝宣城縣城を片領した藤山、野副、小堺、片岡の各部隊は 1 氣に熊 治に突入した、餘す所至十二キロに過ぎず蕪湖の陷落はこゝ一兩日中に迫つた

南京廿萬の難民悲惨の極

僧に居住し両撃に伝えてある徴氏がその食もなく頻繁に襲へてみる様は腹壁の極だのみとなつた。これら離代は産物外の後もである後になっていまれたのみとなった。これら離代は産物外人の造唱による中立地選に関連しつくあり、果に中山路、青は漢甲路、西は西岸路、北は中山北路及の十字域によって眺まれたのみとなった。

安慶を爆撃

した。二、更に一部は類糊を意識した。二、更に一部は類糊を意識 称安置を理解、その飛行場を撮影

南京陷落ととも

重大變化を來さん

ち近隣首相を中心に杉山陸相、 は上百年後二時二十分より首相ける新事態に備へるため近南首 問題となったので南京路路後に 既に金速層保即僚合議を開いた

はずで登起人には前大統領フーヴ ・ルト氏等が名を述ねてゐる・氏、フイリッピン題音ルーズヴ 果京電話] 南京路路 一个一時間 三相重要會談 楼 辭 事

南(中部門)、連門 中山門、大平門、文章門 る門は十五あつて、興中

中山陵等【點】

内外に歴史を物語るを所書版の

いは和平解決促進について外交

**海首相以下各购供旧席** [職以下各器職(松岡多

たる後、南京方面の

十二萬力 七一人思力

に及んでをり、解も三間から七・◆◇……しかし、一九二七年蔣介は七間から高いところは十三間 一席などである

のものであるが、この娘壁を近 間位あり北京城壁に次く大規模

る南京郷子)緞子、または豊穣

から前門寄りに掲載し、平家の和平門等がある、紫瑠街は中部 南京城壁、市街、

內燃機界-權威

絕对吳火紙其他瓊備操作。要吳

に烏有に歸した空地も次第に近

80、 産められた石段が でその東に研文の報

江に達してゐる堂々た から伸びて西に向ひ ある。いにゆる中山 通して成外に田で下 路に沿って北に折りて北に折り

で、中山超と共二帝帝
なといへる

百二十萬力 完<u>一</u>二十四力 第十二六十黑山 元光-元十期力

### 子べき間側につき窓 **阿斯**

古一十六周力 古一十六周力 二十二十二周力 二十二十二周力

四十四周力

定例閣議

(馬場內相缺席) 韓頭 **削食、近南首相以下** 例開職は緊閉担に午 南京路路を目地に路

### 相 製屋職相等上り種々競議あつ には永非逃相、中島商相、木戸文 中なる同報告し更に山東省の情報 支方面の戦況に帰し詳細なる報告 ついても報告あり、これに對し し殊に南京方面の職民は島軍 においてそれらの野 き事態に関しては目下 重大韓権を楽し新たに 南京無湖方面及び北 害して漁展された 大量製産·在庫豊富

本此,大阪市北域茶屋町 一種 一大阪市北域茶屋町 一次 城 支 店 一個 经 助 機

趣がなくてたまうぬー

人生航路の羅針盤!

昭和十三年 ▲大勢の豫断 内容要目

がしました。
か関めるか?――正しい選が関めるか?――正しい選が関めるか?――正しい選が関か、また何らずれば幸

後任連黙は空席のまり 駐任の途につく豫定で

あるが一郎では松田

が課)任夢部補む本町署 (選集安課) 任譽部命投 (選集安課) 任譽部命投 (選集安課) 任譽部命投

後方でツーツとしての

男士が領々別れて

びません」と言い人

一 混ざん 『 取録で若



製造は近接長) なること、如何にも経 んたに頭丈な身盤であ るのを吸ぎ▲『御野 とがあるだった。 ばならぬこ 死んで生の







元でられて心たもので過日

戦烈統は全く派隊に陷つた駆かるの脅威を受け今や支那軍の北支作

に送られたものらしいがこれは南

は今回新に図税機遇を創設、図税 | 石家 在に管理 處を開設、六日よ

の狀態であったが温軍の戦闘による事務を統一することとなり必備中 ので京都地方治安維持倉職合合で「英語教育院に福度を・北京、天和

北京七日同盟」北支における国一同北省町花鑑酒税局、複経済登勘

真接所得税辨理處を合作して侵税

関税総處を創設す

本に降れば徳てを失ふい

個視論延長に任命された第立志氏一合の手により貯蔵型電物の販賣時

れ領縣在住支那人の合義により起

京畿道群今 (七日附) 理事の昇任説が有力である

り地方の治安を安定するに至った

のところいよくな立意製造音は、古める徳州が今次の水響と長火に

として北部山東省の重要な地位を

【徳州七日国盟】郡部物の無政地

徳州蘇る

における最高司令田県駅と共に蔵一地駅の殿脚地においてこの程一枚 の作機本部は数失に亘るわが四軍のピラが競見された、

局谷部隊作戰根據地を空爆

【天津七日本社特電】

時孔十分ごろ大名東北約六十キロ

る一派の運動が揺頭してゐること

下に無路弾せつけられ郷所 **丁分宮中に御器内 天島階** 【東京電話】以院会與題長 宮殿下御参内

【石家庭七日間四】河北省南部二 | 成立大會を駆行した、大會(新昇 |

**河北省南部廿** 

で

戯版を食場として各様より代表者

一千餘名參列,當地の德國家吳山

敵陣に 反共反蔣ビラ

黄河鐵橋を再爆撃

漁夫も大関小異である。しか

悲慘なる二十萬の同胞

現地産業視察に係官派遣 京畿道は産調答申に基き 産増産を考慮

の鎌兵組成に着手するととなった 鮮馬概況

各階主要賣出御案內

正體暴處 リで聲明を發す

力强き團結青年層と老年層

第一品ご云ふべきです! の肌の健康を護るに、蓋し

石鹼(十銭)こそ非常時婦人 價で品質優秀な家庭用牛乳 この非常時局に適應した安 今や、我國は緊縮時代です

《邊道の大鐵鑛開發

任みよい都市

開發を待つ實庫

農家さへも豊かなる構

夕刊後の市况

年内無休

お買物最高潮の只今 今八日より末日まで 一全 店―





へ御下命の程お 願ひ 申し上げます今年の『蔵幕御贈答品』も是非哔店

家庭用 牛乳石鹼を!!

10tx

う御神臓の御栉手を致します。 ・ 御贈答用品相談所 ・ でします。





K.7

…る贈に方人婦御の時常非

用庭家

社會式建設石會進共 取大 領本

が文字通り水と一緒に流され、お台所から、年々拾億剛の大金五百萬世帶を控除)の各派庭の

が靴を呼び時一路出るのは片方の

に開業をつけて彫刻刀なり切出で

要すると、お台所から年間十個

製で一家一日小銭を伴かせば 算が成立つ、副食物の合理的な

石上つた時、皮や種の部分

ておくと大概おいしく所け 食べるか、又は水を少々加 極み出して来ますから、

細い観に到んで酢の

紙上病院

ふので、初期硬粒一丁山脈、徹 局所、既法に全事的法中同時に

ドー一般の内服を行ぶのであります を三期行ひ、共の間何れも「B 四期行び後二年目には同じ~之れ

ねぎと鹽鮭

さつばりし

一、起居扱舞びは寛大に、そして

ت

の 皮 手基輪

の総も無駄には田来ない仁川第女 に時宜に適したもので一般の家庭 だろしい数字となるのだから一枚 所報館を考へついたのは、まこと

して一年の機構が頂いたらこんな一取早い軽國の批として十個国の合

つて水気を拭つておくことを忘れ一の『ヨード』「郷に喉に痕跡があるの

入院隨意

は好通二年を程度とじて、第一年

また頃の豫路には使った度に洗。窓・情窓のココム「殿に對しては此に餌もとれて美しくなります」が用ひられますが難に第三期課題

が含まれてるますので時間の説

せて居ります、お正月の御若い ●●解かな著付いた中に神々し

仁川高女白楊會が提唱

自接省が婦人だけに毎日出來る手にもするめたい

物の生かし方葉

便利な靴の友

お玄鵑において下さい を七分づつ切取り、特なくよごれ

とによると金属二千萬世帶(内し一般に呼びかけてゐる

は好都合ですが、腰を下す歯のな

経行各家庭で貯めておけば これにはお古の駒下駄片方あれば 作りました。名付けて「船の友」 て靴を穿く時、他の足を置く変え それで、此の古殿下駅を利用

一四百萬町となつてこれで高射 これを全国のお台所に擴張一に埋め木をしましてから他の限制 先づ下版のハナオのすがつたか

模様を彫ります、或は火いを流

収付ける加に飼下駄の歯が、シャルを入れますテヤツクを前明、冷熱學園楽型百合子氏薬)これが側になるのですが、 で園のポケットには今園盤のイニーす、田楽上り五國立工銭位これを四側作つて置きます。 フェーリー・

スキー服よりロントを掛た活動服ったしてるますので潜跡に傾利で

婦人服コンクール

す、出來上り五國五十錢位(磯部 値上りや又国家的に見て家具など にむやみに使へない問題の金融組

操などいろく前しく生かされて 丸太など特有のものから、路、徐、 種々の様本――脾代料・概・枠、もあるので、日本に在來からある る病氣であるが、断肌の部門東京 の盛方中には野歌書に駆するもの企後一包紅服用等ですが、而し此 市下谷城鄉徒町二丁目九十番地梨 〇『ザロール』〇、六を三包とし 淋病の動治療法

の研究単に報いられ比較量つた治

ある今日、大抵の家庭では顧踪一部屋にもらつりが悪く、又居心地 は服が男子の通常音となり、壁具に西洋そのもの人様似であつた

供の洋製が日に増し増加しつ

ため、日本人の生活にも、日本の

日本趣味の家具

野判である、離消者は一度同先生 あり、優性も非常に早く治るので

聚 色 質 鸟 商

東京市日本間医本町三ノー

田

翌 資元 けて、こすつてごらんださい、簡一て後欧法としてヨード」那の内服 ・大根の民権の切りに磨き砂をつ んに行は行るのであります、そし くありません、貴下は整師の内服

き原因となるやうな事を避け、要の時れにある様に暴蛇器を等の如っ 近では発展性 物族は、としては、重曹三、O収製 スー〇、〇五『デアスターゼ』一、 光 分の治院主要 するものと

下手五八金石と締めた度では、む此の手類に放て上手五三銀の時、居玉の職ひは非常な危険が伴ふ、

5 で、味はひの度い指し手である。 で、味はひの度い指し手である。 七九何と引くの度い指し手である。 七九何と引くの度い指し手である。 電、八六柱と打ち、次ぎにか直ちに九五歩、同歩、九三歩 の方が遙かに弱く、何時も既还す 此の無配を絞して上手は三で、味はひの険い指し手でさ

(外に大量入、病院用あり) 長簪十本入(男子後始親疾用)

短管三本人(雄 55 用) 十本入(男子授性及所获初用品)

日英米佛,製法特許

### 治新

基本、味噌、肺、砂糖 材料 葱立本、腿丝三切れ、人

何んの病気でも放任して聞くこと 

庖丁に餌がついたが、砥石でと

手廣い上手二二金 (長時間を2時間) 異常 解説 - 時間粉 下手引角の戰法?

一、感染草々の患者には、短管を 携帯にも甚だ便利なリー使用法は頗る簡単安全

(殺闘作用特鎮時間、一本にて三時間より六時間) (使用に要する時間、一本確かに二、三分)。 (対療用としては、『日一本成む二不使用の事) ウラルゴールの種類と價格

ののは次とは終れ不安、都市代用は一個場) (利金は次と総対不安、都市代用は一個場)

整治元 大日本製頭株式會社 教養元 韓以武田長兵衛商后 を乞ふ ナガヰ」の文字に とエフエドリン「 の節は必ず②の印 御注意の上御指定 類似品あり御求め 本 密 大阪市佐町三

ルと命名して日英米佛の製法特許を得たのである。 が適切なる数菌效果を發揮するものを変見し、之をウラルゴー が適切なる数菌效果を發揮するものを変見し、之をウラルゴー のといるでは、 吾社は各事門家の指導協力の下に、数年にわ |機械せざれば、列底根本的に金治しないのである。| |男子の淋疾は、尿道粘膜の深層、或は側管に潜在する淋漓を の新治療法として名廢益々高まりつよある。 の新治療法として名廢益々高まりつよある。 感じ、つひに淋疾は不治にあらざるかとまで患者は英を抑くのである。感じ、つひに淋疾は不治にあらざるかとまで患者は致を抑くのである。 淋漓に感染したるものは、筋痛、排瘍に破少するも、淋漓を消失 辨箋を撲滅する點に於ては、效力が電だ破窮の繋がある。 力をの旅法は夫々特長あるも、しかしながら此の男子淋疾の根源たる精鋭帯在の力等の旅法は夫々特長あるも、しかしながら此の男子淋疾の根源たる精鋭帯在の

是 野口 高 會

仁川野子

料を切つたものを加へて理よく和 し、白のかとしほり想と人参の水

と配一句はど加へてよくすりのば

して、その中へ砂糖を大地二年 味噌三十年を指述ですり、

この數字に驚くな!

\*

淡いウエーブを致しまして、朝露

原館を水にひたして埋ぬさし、 壁もみして洗つて水気を切ります にしてさつと潜む通し、

一段で一杯になる程のゆるやかな

悲は一すぐらゐに切り、四つ割

台所に拾ふ。十億圓

むだをつゝしみませう言治的報國

細き管中に入れてある。 此の粉末は直ちに溶解する極めて渉き皮の 時の方法により化學的に結合して粉末とし の管を尿道内へ入れると、

道郷力によつて却つて尿道杯膜の微細なったり間断なく殺菌深遠作用を持續し、粘膜表面の淋菌は勿論、粘膜深層或は側管に潜表面の淋菌は勿論、粘膜深層或は側管に潜をする頭温なる淋菌にまで、その殺菌效力を深遠するのである。 道彌力によつで却つて尿道粘膜の微細なる。如く二、三分にて外部へ流出する事なく尿ぬが、一次になり、内容は粉末なるが故に、注入薬の溶解し、内容は粉末なるが故に、注入薬の

歌年にわたる慢性淋疾と雖ら、ウラルゴ・ のでしたる慢性淋疾と雖ら、ウラルゴ・ ここに於て感染早々は勿論の事、たと 退し、再發を防止するのである。ルを使用すれば、速やかに、排膕淋絲を消

質に之は銀の局所注入、

者のみが享受する利 點なり に因る 滿足感は服用 エドリシ「ナガヰ」

適應症

安州九 深山三日 唯华十日 次州十日 次年十日 次年十日 荷 車 丸 雄基平日 清珠三日

**喘息、一般咳嗽** 

發作の豫防鎮靜、苦 喘息、銀暖劑として

惱消退等の諸點に對

アクトル 長井長裔氏 いっちゅう

丸

(権権)の治療法は不可能乃 来得取で、其の方面の勝利の散 (答) 本田病院長 1 本田建義氏

パルサン』(六〇六號)を七八回江 既明しますと、先つ早期に『サ も現今質師の行ふ治療法を前単に

の間に水銀館又は硝基酸法を行ふ

取得一年間は水路療法(結婚療法

効果を齎すのみなら **宇治療上極めて容易** して良く本剤は其の

〇須道会行 東京―名古星―阪神 大船渡―選挙―被戦

芸術月程前より根準にて苦梅毒の治療法 ム」を摂有するのであります、

郷に對しては外末谷(約三半の水大腸共の他全身に宜る頭腦なる頭 に引地一・〇一四・〇)を行ふ事

し街面には甘米城に「ヨードホル

たお惣 菜 夫の自由を東郷すべからずっ

設の法則なり。

且持續的なる作用を 勝障碍なきためエフ **算る服用も何等の胃** 有す、而して長期に に投與の利便があり

ても可) 【回に短音一本を揮でも可) 【回に短音一本を揮

蕁麻疹、盗汗 氣管支加答兒, 百口喽,夜尿症 一〇段二〇

●五○○鏡 五〇篇 一〇〇院 鎚



全個到る路の際店にあり

野野菜

餘以小西新兵衛商店

阿波共同汽船作出机 大連直行

移出米の最盛期に

泥生捕り

一人組こそ

正十一年保存祭館の謄本を添へた と大正八年定平郡守の間明替、大

未査定地でも所有権情遇の原因

入されたところ前肌の事情で代れか会議江改修に際し用地に綴

6同人婦の所有地約1一萬六千坪に

有たる事質は明瞭であるが…

を及ぼさうといふものである、元整理事業などにも相対大きな教際

雌認方陳情に参る

を濁さにやならぬ

雷局も辛い

査定洩れの土地所有權の

で中間してゐるから陳博者の所地だ、それに取得時就も二回ま

食を去る二十八日午前十時から那 収成数を示してゐる 報恩農振委員會

議室で開催し精散の事項を打合 張り切る祝賀陣

単の得ある間島省安徽縣を中心と

○池線 ] 情並にこれに関接せる | 加熱勢から排してナニ月末現在の切別の名前島省安御廟を中心と | (宍地人九千三百七十七人) の将

于三首四十、流船支那人六官十四 內班人三子五十七、朝鮮人一萬七 人口調査員打合者を開催、種々協

議するが中年末現在の府の月数は 【七川】府では八日午後三時から

檢查激增 與南浦支所

四で人口中裁三百三名であつた

青年開員献金 [附送]

外尉人士三、禮戶数二萬一千二十

【傾直川】穀楊南浦支所管內十1

空前の敷字

旦一十列)一般段の計量を進めてる

いた人士の象徴なる具種化「内の人口関係を行よことになった「納力を大日間必署に依頼した。」 ようば きっぱ ゴビルス たい 新力を大日間必署に依頼した

【城市】 邑では十日から 【際に邑

城津は二萬五千

**淺海動植物に有害な** 

監搾粕の廢液

道心各郡に調査嚴命

布田祭貝急行し取調べの結果所持 が、三日午前三時でき本町二年日

た、かくて祖城面では工場用地で

世古恵通りに陳死あるを競見、大

間中にして工場用地々主四十

虚弱體質から」

- 氣管支力

タル

村

朝子

から中上げます。

取り致へず小瓶を販急要局で求め與へまし

此名用地で主二十二名の筋解を 日鑑から戸掘主任世席、寮織一時

全下大度となり連山機×たら野化 | 酸食を開催し追から後頭土木職具

一たが三日付龍城面事務所で地主国 無構へを反映して酸設第一日に五

予急英国の祝儀商ひを成立せしめ

に銀行く人の足者も早くたつた 日に至り語呼頭米索殴計も途に 景級々として供然製造歌争し返に

大田】二日朝茶寒風吹き荒み降」は歴策を支持するといつた地主の

ンベンも天國行 師走の氣狂ひ氣候

京園線明月海起點、安園縣本城間

重大な使命者する明安職道

所謂更消刑の處女地として一大寶 | 1日現在の五萬九千四百三十四人

【間島】鉱造場局ではかわてから

測量班乘込む

十二年四月一日現在の五萬八千三

月宋現在の五萬四子三百五十人、

百七十七人、行政區體擴稱侵六月

明安鐵道 が誤戯上に敷ればじめた

**労して本調査の完璧に助力された** 

仁川の人口

**计**萬三百人

鍵を四日國切献金した

穀物の

に潜手したが各家庭では直質を報

| 「「「「」」 | 「一」 | 「一

く精水してスケーターの群 を見せるだけとなった、平 中流に青い望る切つた流れ 阿江は船間里間の電路から 示師で十二一度人分を示し大

念し實測

開き各級の個権に就て打合せた 路の通報あり大路何時でも大々一选げ田ざうとする何人に店主が手 が、府では本府の道際に基き南京 はきに至り、世界戦撃上に一分歴史に正義日本の関下に彫脈の動展 打たんとする日が迫りつくある一 処理の田本るやり七日午前十時 機然として埋き酸の首都南京 â重聖職の成果は中南北 ・ 輸送してるる間に他の一人は店園 南京陥落の吉報を待機し 仁川で準備打合會 枚を想取してツルマキの内に入れ に持つてるた職類を投げつけたと の著に暗語で逃走方を促したので 段を開答中の者がそれと知り独れ 女が競易して店に出ると電燈の仰れのを部屋の領子窓から店主の連 に煉列してあるメリヤスシャター ころ、何人の口元に命中、劉備を

版に開放せよ

埠頭施設の不備を緩和のため

近く某方面から建議

商店街は供給店舗づき慌しい気分 が頂つて来たかこの鍵帯に続れて 語が紹行するのでご注意が正常 二人が親の春になりそのまま店に解脱の暮音に合つたが店主はふと 連れ戻り最重毘闘を加へた上放発 自作農創定 [江韓] 郡 瓜大な被害を異へつくあることに 流される監視のため機権動植物に一際には、現在の賃油船事環際に大 に醉ってるるとき直接輸工機から 常する鮭を水揚げして鯉青葉の巻。 蛇工帯電母を蟄の非派た銃骸であ。民の田迎を受けて先つ郡職に入り | 劉明したが現住所に認常人たて死に成興」成员治瑋では、至分に相「成南一道のみの破骸ではなく随薄 | 甲斐斯夫、 仮機能退職員その他官 | 品によると大田西町村品乗でしと

8000年、現在の護康県部の銀際に大 日は午前十時数守宝に職員を集めり、被害の結果が的職に判明した。事務機関を行つて同後一角、翌四

れてゐる、たほ二日排館にもルン **連死と出てるたのでないかと聴さ** か泥酔してゐたものらしく運命に 僧で運命機定をなず者で阿夜は郭

か加へて百二十三萬間の買取祭出

心能の動り大阪の病院でレントゲン診察られる観覚へ、健康は減ら、領色は悪いの 作気管支オタルとの事でした。後、どうも受が取れず、主治器 英国の買政を決定した、この他四

、常から風雅を引き易く、皮膚病でも長女素子は所謂歳出性物質とでも中し

全てお菓でも

日までに成立した清津、羅南の分

ついこの間の夜本町三丁目台 如水田六千三百年, 班二千八百年

にその質見を報告して来た。

の名の の名が起るものと当日されて、 で事者機関に就する際評があった。 なほぼ谷

神谷內務部長 江華郡初觀察

皇本版を告回して野事を設置のた 8去の11日午後 | 1時末期・採罪守 | 赴主な 【江縣】神谷京藝道內養的長江市

開送帝京町六一九明連の様寸を買つて献金

日鐵用地買收

順調に進む

ス各加盟店は一致順籍商業報回 後二時から林龗保全員は永河面加

直際の楽を小長にしは十一月二十 如き皮膚の伸びなく明らかに終設 【全州】完州郡九平面大福里配字 しかも類部の紐痕は自ら輪死せる 後端に吊し線死を装びたるものら 以映して常に鵬製奇数百名

貧乏剤と嫌はれた人妻

迷信の生んだ悲劇

室にその物音の聞えなのはずら無 しくして、萬一種死せんとせば隣

松都高音の愛國日

ろによれば、阿女は非色那武城 くが風なる事件として注目されて 製金鉄九の妹で四年前一つ年下 | ある、回地に僻地で死亡能数皆等

◆京選行六、三〇〇噸◆反興行 ◆京選行六、三〇〇噸◆反興行

あつて、なかに丸ナ湖倉より要

の前数全であがったりであるたけ かない際でこれでは他の米里さん

水並に名古屋行六平町の東水に

開料は新聞やラチオで島軍の麻

一部し二割万至二割五分の肥船ー

B五百噸(內七、六〇〇啷十 仁十一月下旬積頭り)▲阪神 兄選三萬輔(內一三、〇〇〇

兄弟で四ケ月の間一心に

日の丸の小旗作つて献金

なりました。どうかわづかのお Zび強温調楽のため流館開茶就1ましてやつとこれだけのお金と Zび強温調楽のため流館開茶就1入月の始めから今日までつじけ」としてまる『日右殿進電線の環道

ませ、皆様の御ふんとうと武連一墓びは稲頂に難したが悪は同線の

行四十餘名が來明し明月消市民の

過のためにお働き

関連か否かが一つに明月海地方の

ひどく駆首を受けこれを建設して目前過つて別の食脳を置してまた

つたこともあった程で、闡死の三

同他指に歌めに出す帝あらゆる虚

として男本会開夫婦から概念さ 際傾きしとかで古深の迷信的な一

孤雄し並に十二月中、下旬の配粉

送の見通しがつかね、丸ナ協會

一子を知るにつけ銃後國民の一人と 振りや閉背鉄芝と眠ひつ」ある様

四十五回四十级左派军楼献纳基位

能部し一千本を愛國婦人會、

大同江結氷

林業研究曾

早くる喜え

して五日印版圏へこれが手限を

に一般の関中国四 四年

| 近年|| 瀬脚文(川文のまゝ)

しては未だ配船の通知なく

當の配船出來得る」と報告に接

Pも相當あり一度韓语油へ來て「【水原】 邑内署名商店からなる商

出し始まる水原も大賣

油、火鉢、置降計、トランク: 座布開五枚◆三等 ○二十本) 年 一等 (十本) 水屋、机、毛布、

六日夜家庭の不和から自殺を遂げ

るたが、正式耽船の通知によれ 「種々折衝の簡果十二月上旬は相 中の丸ナ協會阿部副會長一行から よつてこれが打開のため内地山班 腹の大不足に悲鳴をあげてみる。

「健康期」西録三道の私い物言作

幾度の配船要求も燒石に水

南浦の業者が悲鳴

母に補助参一枚、補助参二枚で んでゐる、費品抽籤券に買上一回 の不況を一番に挽回すべく意気込 の物牌で各店一斉に大学債で奉仕

見て嵌へば直ぐ

も皆一杯で配当に

移出米最盛期に富り相次で船

量とこちらからの配船要求との量あたりでは、自分達の注文数でも検りにひどい、東京選米問 船復難は時局柄止むを得ねとし

何故か同家がその頃から多少しも解剖の結果は果自自ら分明なる も如何なりしや既に埋葬的みなる べく百歩込いで自殺とするも迷信 に虐殺された死者の心臓は職者の る六日の愛國日に正午全校生徒が 【開展】松都市等労通地投ではま

下水溝掃除「仁川」寒氣一暫を質確した

「確常」十三年度成化道に新設す 清津に決定の模様

れからの窓には、呼吸器が引ったり、嗜壊が出たりする、さらし

胃腸型の虚弱兒

常から栄養を昂めて丈夫な體質に

發病し

から騒ぐのは手遅れ

-----

し易い見

月二十日現在 (松光研年度) 独新 繋がせてゐる、即ちこれを類別に に上り、戦機は局を始め各方面を

い何れも眺中である、これは玄 は要作の上に天候がよかったり 八千以《白米四十四萬二千以

萬突破は確實

一言頭言背部にも数多の外傷あり、一足分は遺間により支掠する

たところ、胸部の外自らの手の周一中類は地元新附位を主體として不

元企会力が弟を送つて死體を聞べ

**咸興府の年末現在戸口調査** 

係員を總動員着手

永井**專務**萬退朝日釀造會社 米は昨年より十個羅、白米は上 S田すとか無限に物を氏

大豆が三樹。

具乃宝は紫紫不良から がよく用ひられます。 原因は蛔虫でなく、附化不 物してからいふない

位の国籍は(五)母の国語ー〇)

りますので自然虫気も起らな ることが多いので「峻脈わか が態せられて、禁愛がよくな関連を整へられ場内異常服器 化され、問題が丈夫になつて、もと」によって食物がよく消

さ まれてゐない物が多いからです。 といよのは、背通の紫斑紫が一、二に個してゐるのみ微、紫斑紫が一、二に個してゐるのみ微、紫斑紫が一、二に個してゐるのみ

|競牧は、大雄||通りに分れます。 呼吸器型の虚弱兒 一郎母乳と牛乳との だけで較べてみます よく知つておかれる 能勝と似分との三

好つては居りません。 「靴を水で以て唇に脚」。 割見に と少く納分は母乳の | 信多い。胎肪は阿 すっまた無機緩緩では、緩分が船 た物質であります。

事を知つてゐたのは後 事を知つてゐたのは後 事を知つてゐたのは後 事を知つてゐたのは、 でした。この要のよい でした。この要のよい 見の競音保健に必要な発光を振っ ウムなどの機類に至るまで、乳のピタミンから、隣、総、カルン 上ころが、前でも申し迎べました『戯歌わかもと』は、この農業 を十數額に亙つて豊富に含む上に を計算を計算を表して豊富に含む上に

有の「総類わかもとは二十年日 分一四六十銭、八十三日分五間 の帰復で東京市支公園、わかも 上本備祭祭とすりの後襲で、全国 京1七〇〇盃)の後襲で、全国

タルとしては液質が早いとのお話でした。を取つてをります。主治療も、慢性気管文力を取つてをります。主治療も、慢性気管文力

政殺して

は最に既迫せる職業収録をその

歴況であるが過数同校試験

上めな就順告を見北道知事な船

待望の水産學校

組ま中であつたが、阿夜郷勢中に |る甲種水産単校の位置に関しては | 数の梅雅數は数検関所以來の多量 も指はらず炊事をなしまた始の食。道質局で考究中であるが大概水産 そのと無へられ、計報に達し賃、数をみた機様である、間接臨時投を落して帰められたゝめ輪外せ、正國清津に新設するとに意見の一 は三十萬国、うち中野は領軍補助 数二百四十八萬以で前年の八

ために、可想い赤ち

ではピタミンはどうかと云ひま

り、白地球を射強して、身體の抵<
った。 これが 新生場化をほか

酵素 上は、紫紫物の湯

ノだけは完全に失けれてしまひま 段歌消粉の際、物に大切なピタミナと、牛乳にも少しはありますが と合まれてゐません。それを知ら

ら 離いのも、牛乳にこの酵素が食ましている、牛乳で育てる見がとかく弱類に 牛乳で食り 抗力を盟める等の作用を管む機妙

なして居ります。 れてゐないといふ事が重大た因を

は、食べる他りでムシャー(食べ、大変びでもつな、 た理学しましたので、これに繋が付いて更 は、食べる他りでムシャー(食べ、大変びでもつい、 に現を求めて服用を機構させました。 ないで、これを手腕に加へますと、牛乳の 架製債は 一郎 男まつと、牛乳の 架製債は 一郎 男まつと 一郎 男まつ 然な際であります。 從つて、これを牛乳

本 法

適合する手旨法

で蟷螂になる様に鼻くといふ方は加へないで、自分自身の持つた力

云ひますと、外から無脳に保護をこの二通りの屋飛舞質を改造了

いふ概なお子様です。機様や影神にもかより易く、外部が使てよりにもかしてらます。大統則してらます。

### 国 八 八 子 号 日

## き易い見と

——影提氏兒光霸近 発生態もいろくしありますが、です。

呼吸器域にも背視器にも、保験のたり適つたり適つた特は少いやうです。一長一種で、どうもこの目的に ならせるといふ眼目によく適合し てぎないやうにして、自ら臨れに

これは常月してふる影響の個別からいつても、呼吸器の近ばり人、四時の機関に取らるのとメーンは、可能の機関に取らるのとステッシ、リチン等のフェスを受け、一般なのはないでは、サイン等のである。ステッシ、リチン等のフェスを表する。 他を指摘ならして対象が主義では独独の器官に力を與って、その概が を各種にわたつて含んでをり、そはならない、細胞中の微妙な物質 存を置けて行くに うには一別もなくて

### ■の脳い子供のある表験にとつて、て伸え着り強い、気管交カタルや ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親な起戦だ子供 この窓の物変です。 ところで、この親な起戦だ子供 この窓の物変です。 ところで、この親な起戦だ子供 この窓の物変です。 ところで、この親な起戦だ子供 この窓の物変です。 ところで、この親な起戦だ子供 この窓の物変です。 ところで、この親な起戦だ子供 この窓の物変です。 ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親な起戦だ子供 ところで、この親ななど、「下側を子。たっと受ったらと、は、えて、。成色よく、な数となると、外間が文子はころで便 ・ ちょうと受ったらと、は、えて、成色よく、か気になると、アルリン ・ からすで、回道が多くは下側あり、の子供は、四周が文子はころで便 ・ からずで、回道が多くは下側をし ・ で、まったとですると、は、えて、成色よく、な数とはや、外間を関する ・ が、は、この異などのいたには、この異などの親い子はこも関する ・ など、たっとの子はこも関する ・ など、たっとの子はこも関する ・ など、からすると、など、たっとですると、は、えて、成色よく、な数となると、外間が文子はこちで、の親になると、 ・ が、からです。 ・ が、というなど、すると、など、など、から、呼吸器と ・ からで、この親ななとが、からくなり、 ・ が、というなど、 ・ からで、この親ななど、 ・ が、というなど、 ・ からで、この親ななど、 ・ からで、 ・ が、というなど、 ・ が、といるなど、 ・ が、といるなど、 ・ が、といるなど、 ・ が、 ・ 乳のない赤ちゃんの

文夫な育て方 た お母方様に 御注意

で概之から覚慮を起す也れがあり ・伝ふ歌うしい病気に歌り、郷分 不足の為に郷地祖 ます。

 $\widetilde{}$ 新たんのを乳却が呼 C大) 役の 加 ガ 二 (三) を描ふためにお砂棚をを描ぶためにお砂棚を ばよい

中で母乳の消化される時間

とクリームを加へれ つ――と考へたの中乳でも丈夫に育から、赤ちやんはれたのじになった

た 問題となると、即動的な態製無は、概を年熟に加へて、その総名を補 無を年熟に加へて、その総名を補

なかく容易に見言りません



ライオン歯磨 使用前の存在數 歯牙股灰菌 5,248,330 78 約 (歯の琺瑯質を溶かす菌)

Eures BOLIA CONS. ライオン歯磨 使用後の激減數 60000 1 齿牙溶解菌 856,800 72 的 10000 (間の象牙質を指か十萬) 黃金色而賦球菌 43 (約 1,848,680 40000 (化鹽を起す箱)

ライ

(ライオン 歯磨和菌研究室研究段) イオン 歯磨の 强力性能

Š

てしに砂州が値とこるす用便を磨磨ンオイラは表の配上 of まりあでのもたし示明を取るす去除首要を盟細の中日 ん せまりあはで 国畿のみの晶栗合配に単は表體一のこも而 羅睺き朝の斯 、でのもたし示を果動的合稿のでしと鬱然 ofまりあで思いなれら見はに暦盤の側らがな態豊は

### ゐる事は市場一般の品とは同日の談ではありません。 誠に經濟的な遊磨であります。 而も容量が豐富で、非常に永持しますから、時節術 らず、歯觸りもよく、その上香味と清掃効果の優れて お煙草を御愛好の方は此歯磨をぜひお使ひ下さい。 特に歯を白く美しくするばかりでなく、最力な科學的作用 適度の潤ひを保つてゐますから、粉も飛び散。 製ライオン園館は獨得の製法によつて、終始 を防ぎ、歯槽膿漏の隙 歯垢の膠着を抑制し、 の毒素、毒物を吸着解するの意味、毒物を吸着解する原因となる口中で 面を傷けたい事。 原料の粉粒が微細均等 口中の微生物を吸着 、完全に除去する事 解毒する事。中酸及び口中 節の表言 (7) (6) (5 地がよい事 の、血行を促進し、その抵抗力を 歯鰓、口腔粘膜に適當の刺嘴を興 増進する事。

株式會社 林 苗 6

その抵抗力を

築臭くなく、

使品心。

るのも繋だが、仲々活躍して臭れれましたかね、兄の私が弟を褒め

あるので穏かに一家の者も暮び

り光に上屋信和 電 日京

復興の蔭に飢餓民

上海にて一後藤本社特派員

上海

戦

線報

光

験報はもう上海から計里も四十里

も先きに扱ってゐるが、上記はま

だく威時財敵であることに親り

福では西に群つ排つて町を歩いて

店をあけるやうになった。だが上

四年上りは雨も多く、寒い夜を、

ポウ、岡本蔵臣が私の弟だと知

ところだった、包み切れ四事色かせ弟の武選是人を終してゐた

「東部をせ」

いのが淋しい事です。

に役立つ人間となるでう動揺を留一ら各刑務所在監者代表として1、

この最で蔣介石は平記鏡化守を企業いた次第でした。文面によると

敵の裸點平鼠戯の要指を意襲占領

たその戦中からの便りに、質は

なましたが、武型に思まれてか、 党和一家の者と最後の劉面が出 指へません、戦地に登つた折。

口數の少い男

る。この戦略の大部分に作器時間

3

延長しその得た貨庫金を開田し、別都軍党員にではこれ第七千餘一

三名館が参集することになったが、たもので満洲郡鰻の際に比し人具

古ること 4 なり、 慈収氏治理

掛きのため簡優に行つてある に大猷で刑徳所職員敷名が氏

概然たの血動戦撃を支げた自張の一度境で祖友会を組織して三十年以合的に七日正年軍賊に軍刀一府に「僭て金鵄縣章をもらつた祖兵下士

老男士二人が現はれ 『我々は日露

上親腹交際をして常に死を共にす

【大阪支局特配】大阪第四部側目 所属して日際後半し所謂 残骸を

大阪に咲出た軍國美談

軍を希望してある。」と決意を告げ「連腰の殺と共に大阪市民を領が上 あるが、同志二子名が連名して後一老勇士二子名の観点に時代と常成 戦争に参加した六十二歳の老者で一るといる特別の土である。これ等

にも興歌させてらる 勇士に

京へ乗込み、支店開設の準備を進

は面白いと揶揄されてゐる

华----京成林町二三

一生的商裝完實

の成分が館めて少いとめ、人工卒養料で育てる赤たつがり含まれてをりますが、ミルクの中にはこがつがり含まれてをりますが、ミルクの中にはご研究の中には野飲と繁慰に繋頭なゲイタミンじが

ッキンは消化不良や整要不良になりがちです。

たといふアンちゃ なり過ぎる癖があ

日午後々あかつきゃでこつそり車 へ天石頃の進田を企関しまるサイ 政権に重要な地位を占め来りつつ

が高組織の操作等は若い方

東城五町三個兵機財河西多三郎

全國に魁ける赤誠

かいることは金属最初の他してある領地に二十五倍の多きに適して

## 『京攻略の日を待つ

### 本覆審法院檢事長 道理!杭州灣敵前上陸の雄 神速部隊長の令兄

イ・サインの戦役などに刻え迫る『南京路路』の前突軸に俄の離聴のやりに数を「釧路十字側にデヴューした和信屋上の本肚スカ を組みて都落さ!。師走の側面を親外が鈴の寺に載さたてられて破竹の真軍南京会送場両行場を占録上類似の勝分石夫妻。種前屋

州灣敵前上陸の見事な放れ業をして健励を小選敵前上陸の見事な放れ業をして健励をく主人公がある。それは世界戦史を飾る杭 て、北上、一類に南京の側面に肉類類硝の中で血刀を揮つてるる 弟岡本部隊長し神足を隊立て、慶福、郎武の路牌を抜き血増をた 檢事長岡本至徳氏(五九)がその人だい・賣 たてた岡木(鎭)部隊長の實兄京城覆審法院

舞をしてあるこのニッポンーの悦びをザッとを取後の無飲と促びの歌壁に振怒させ早くも脱烈が難に修手古 秘めて新聞の戦況にヤモリのやう舞をとる。この ニッポント すじ

に喰ひつ

るな、と想像のこもつた前しをして

を動つて唇る

勞役の報酬積んで

里機關銃を五台

全鮮各刑務所の服役者が

聖長人を励り、小さな合意を図 英三君、長女の和子さん、南大お低機のお話では京中三年生の 門不遜校六年生のすみ子さんは け一家學つて毎日部隊長の趣順 無朝神前で叔父問本部終長の武

部段長女和子さん。英三君、中部級長の手紙を競竹岡本至孫樹

岡本郎は長二 は今度第一級勇士に贈る時間帰車一揃つた福砂隆良の行気に各方面で一じ行の結晶とも云ふべき場細に聴

並べて一生職命に手質を願み、し

質財前復金さん。こがその則話

墨海門を育にもう一年町も熱心に 題としてるるクおばさんの生徒々 

るといふ、両上してゆく牟島婦人 変をずつてある主人の許しを得てかるその上々模類生々となってあ ら」と思い単性愛からミジンの外 一京成瑞殿町の愛岡婦人舎前 ┃◆……毎朝家のことを踏ませて午 この勉強が喰っちました

調師―十部から十四、五銭の自分 事、國路、鎮衛、野方、修野、

の子供のできな三十五名の生徒の

か自分の子供のやうな生徒と肌を一つたのでは恥しいし、この時歌に一枝教育を二年間で速成教育するも一 無親育では子供の教育にも限らかので、東青花先生も類さんの熱心。ます(真真に観館の研覧会さん)つたのでは恥しいし、この時態に、枝歓音を二年間で遊成教育するも、人」と親しまれ機能生となってあった。

の主で、趙さんには四人の子供が「仲間入りをして、それでもこの」所懸象は理をなし八日朝人間の日 山湖内に引起した藍野鹽蔵銀四ケ安丸(七千三百トン)は七日朝金、松巻に於て坐礁した閼鉉連路船県 りますが、これは三十の争点婦人「うになつて母が目に一丁字らなか」この最後勝動なは四甲酸の普通製「全皇徒からは『おばさん、おばさ〜……六十の平者と云ふことがあ | ありますが『子供が勘終に行くや』々おばさん生徒々は一生態命です。| ばさん生徒々の勉強に力能を入れ

興安丸曳航

【盤山電話】六日夜釜山膨鶉の歌|サル曳船により異断三蛇道船 十日歸航の豫定

一日間港するととなったなほぼ事件 廻航完全修理を行つた上來る二十 により淡水湖でしく白米三千街」 全部水液しとなり被害は大による

一粒で 効果を試せ 効果を試せ の反應 が変には が変になる。 でである。 ができるがの にできるがの にできるが、 にでさるが、 にできるが、 に

人院隨意 膳酒麻蜜 料フムラ病院

學想小材 笑三

深 豆口亲内

省家 高門門門

電話光化門一三一番

竹

東京の人に 切無料理

班長柳青珠氏が主唱となつて十名 中島名物『キュチ』と共に本間の 解料理が帯都へ適用するといふ 天香園が支店

地に競盗したが、愛阅歩調の鮮に「て日本園具たる有種でを祀ると師」あつた「一の船間健康の文字を認め、現「所辞述の多齢者が今次年襲を通じ」五雑誌

今春全帯から成前に差られた陽音

汗の国防献金 勢側者七名が

金鵄勳章の老勇士

揃つて從軍を志願

合課に替先して、七日百十個の

長下郷は以下二十五名の際員は

かちど言々を買びカードに思ひ

マかちどき、が検察されるも全度(は既心してゐる

金をなして國防財命にと届出で

たこの勞動者は成帝成州郡上岐面

の長湫江水電工事場に働く入って

たが、安那事製と非に力闘く内葬 助かなニュース ――実野関連金 株式自社大売開ホテルを設立 幹継峠を盛つた心地良い宿舎を 梅女史は半島を訪れる観光客に朝 **登設 ど前に様々プランを舞つて**る れ初代女社長にむさまりホテル

竹添町神風豊也光二六四四へがは直接左配へ御頭骨下さいま

話の年を譲受けたし



層間・三円五十段・六円・十円

果 極めて汎速である。 ・ なり、 ・ なり、 ・ が、 ・ に、 ・ が、 、

は菓子食託被人長州屋迄和來該あ 動作業の方京規網灣町二番也京 東子製造消具一切鄉 一種・東子製造消具一切鄉

中 衛 新原官の河湾ある ・ 東京では、東京金脚用 ・ 東京の河湾ある

三百 選 婦女が娘ある者郷

ウィタミンCの缺乏から

消化不良や榮養不良になり易い

ルク育らは

マ 日本語記録住題個へ

ガミー 高酸の上 高酸の上 中家む三十歳前後間

か静い赤チャンに生の無り仕上続してする。でする。でする。でする。できれて歌がされましたが、胃臓のこれを吹ぐためにこれを吹ぐためにこれを吹ぐためにこれを吹ぐためにこれを吹ぐためにこれを吹くためになって

・ 成のアスコル末は一食型(約十五年)の ・ た乳に近くなり丈夫に取らせます ・ た乳に近くなり丈夫に取らせます 数明書と見末は 東京市日本語 東京市日本語 田港だ三郎頭 店へ郷中越次 店へ郷中越次 特別穿顶 ・タイピスト (高女卒内地人)

· 給仕(里安共高小卒內地人)

人型 是 题形等年五·757 后南井汉設

質別に限まった質問戦後、協一研殺に百四十一萬九十六百九日支郭姆以來半島各地から軍一戦に通し、協長品としての職

十一月末現在本府調査

ナ 航平市大阪野戦南兵隊四聯隊に の阿氏であり、連名の二十名も三 地區六條面一個吳寶是松本辰五郎 非常間を駆逐させた。 この老男士

五年の求刑に

三百五十六萬圓

**力木將軍を崇拜** 

て子夫人が口を添へ

方まで南京改路の新聞を競べ関「鉄蛟着な惨様でした。子供が二人、駅の時の銀材は日本男子の本職と方まで南京改路の新聞を競べ関「鉄蛟着な惨様でした。子供が二人、駅の時の銀材は日本男子の本職と方法の日本間に呼び安せいまし 側南米倉町の官会に持ち込めば一般指に教育をしましたが、この弟 「南京的帝坦る」の和を南大門「が次男の観臣は軍人にするのだと」

部隊長の兄嗣本権承長に家族を一人並より一周盟つた男で乃木将軍「中から度々私たちの子供に一」四国中四盟を得たのでこの戦争を

と弟思ひの一くさり、側からず

Rるが何れも女で軍人の機目のな れに過ぎるものはない、御殿の爲 | 財で職行されるとになり、全師か

**分弟を語る檢事長** の観納式を來る十三日西大門飛 以て前機関比五共を設めてべくこ

世して重極関鍵を五番を配納し、壁質が僅かに得た作器質単金を投 亦試は豊かの種りもなく全師の在 簡同にあるとは云へ図を思ふ 在の本府関査によると三頁五・金額の内線に 工、萬三百十一四五十錢の耳 ▲図初献金(一)朝鮮總督を かちどき。の發送には

夫々就色を申出で、一貫八百九十一て砂門墩草でかちどき』を新年用「門文をも記入すること」とと類草、歌時時間が誇行された時も多縁に「〇宋蔵里へごに関する聖蔵事件の天々就色を申出で、一貫八百九十一て砂門墩草 でかちどき』を新年用「門文をも記入すること」とも似乎にいまった。 銀 朝鮮 かん 味 へられ 窓間された 作内 記录 町一三 てきれる 自立 は 一 から一般に呼びかけ附着者の住所。に分割して最地に接近すること。「続後の総配を見せた本府組織機で「総判長、忠保田松野保で開かれた」である。として附ること、たり、去る一日「小質人で京極め、十二月中に三国「啓走して総員会部が過程を買つて」の判は、六日京庭地方決院で小村。 男して と疑欺し皇元詩士の取中都別とし、一句程に一枚づく排入し間望た歌・眨眼朝鮮都市民投票度では悪質別、氏名を配入した年費『カード』を 官吏は率先せよ 軍事後援聯盟が通牒

れを実行するやうに連模した 慰宣君長に劉し民衆に時先してこ かちどき献納 編輯課が先陣

なつてゐるが雕塑では六日附を以

選挙したという数据で創造者に撤して統定するされてお目を取って「有物の発揮発説で放展し、機能を本力で考述、不関心主義を「の側面で無罪を言葉した、総事が「年四月三十日までの御間に続ける

概率国民方に押し入つて国民夫人一形したにも拘はらず殺嫌不完分と三月六日京成積都町一一上額山家一が競判長に選邦が源於五ケ年を水三月六日京成積都町一一上額山家一

積善町の强盗工作

無罪の判決

更に捺跡するや否や治目を認いて 有物の施殿を説下竹供い

施設かよかつたので寒くはある

昭和十一年五月一日から昭和十二 下附された敷 有料狩獵発狀

人選卵)に繰込んだときの失敗 し一ばいひつかけ並木町(朝鮮

其座数組合の孤三捌さん(だ) から娘どらいいところにあして つたが、それが無に残なぬと喧 お明確なのヒヤカシさんだ

× が全使は季は様でん方の様門 りと振り振術上町、立ち直つた 二事祭八さん方の機県をパリー 得意の頭突き一撃をくらばさら と一突きやつた メリー・そして膜の横に負傷 一解って足元が行び連木町八

日 舞踊社の増本の 『支原典版』 くてはなられ、戦階域の地域を日本 にの歌歌と表々は絶対に自分で味 とれてあるが、整節様子供 されてあるが、整節様子供 とれてあるが、整節様子供 とれてあるが、整節様子供 とれてあるが、整節様子供 とれてあるが、整節様子供 とれてあるが、整節様子供 とれてあるが、整節様子供 果内にゐて、住居もなく、衣食もにも日本に競びを抱んだ結果であ 佛製品質問の残扱によると、同紙 とのことだ、これは記録された者ともできなければまた機能しよう ない。望浪人は約五千五百人である一つて、政府目身これを誘踪するこ これといふのも国 民政府が創業 運死するものも出て来るだらう。 ともしない、職ひには是非勝たな 朝鮮神宫競技 **氷上選手權** 明春一月學行

町下四十八町時之町さんの

【郑名献典】八王子市大摄

けふの天気

上つておる

られ、この盛れタタンクではい をしたところを平町実員に排へ

六子名以上であらう、歌葉批集内

犯光の方には、まだ避難民が充備 してゐる、職工の失業者だけで廿一

私を会計して六馬乃至七萬人の支にはその三倍か四倍はゐるからこ

はない、夜に百日以前の歌争が起」るらなどといも人間はのない。わ 七百と聞つて赤る、今年末ででに、故郷に聞つてるる。城内の北川はない、夜に百日以前の歌争が起」るらなどといも人間はのない。わ 七百と聞つて赤る、今年末ででに、故郷に聞つてるる。城内の北川ははない、夜に百日以前の歌争が起」るらなどといも人間はのない。わ 七百と聞つて赤る、今年末ででに、故郷に聞つてるる。城内の北川戦 尊がこの二三日來、夜の九時まで 前には約二萬八子、大部分が濫題 竣つてしまった、連結船毎に五百 した時にはそれが四十内外にまで 故郷に歸つてゐる、域内の北部約 この散域だけは超對武装しないこ 続け込み、七割以上は、それらし

とを條件に急撃は攻撃セプに保険

告書

のみだが、管教はその一倍の一萬

いておけば、やがて製売するもの! 製品を 別が改会性に困つてゐる、もう | 新鮮得管競技米上選手組大骨は楽形人が改会性に困つてゐる。もう | 新鮮得管競技米上選手組大骨は楽

**机を並べ勉强** 

念發起の趙温全さん

ばさん生徒々の勉強に力能を入れことでせる、愛媛が人育にもず

ば空菜田来るとそれ計りを繰し 出ることを質問も推薦してゐる所 おばさん生徒々はもう一年すれ 

概、これは強取的。時代の争為時 人ゃとして好さんに感動を與へ

<sup>か取扱表</sup> ンテ西中 THE STREET, (多5号、年18日女)

御賀ボは今年・大学 東年から総人が用来とせんの東年から総人が用来とせんの一般の百貨店が関係に関係一般の音響ので到底一般の古代の1年の ビーハイフ毛糸

日本殿部会社學教取締役

同一〇時三五分(紀)英語ニエー

部型海洋社長器廣告

値段は昨年と同様 化粧由大小數種 の好絶 大国社化 素とのはある 重賞便贈 るのはなる で、利に で、利に で、利に で、利に